

令和5年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	11	議席 番号	17	氏名	渡 辺 佳 正 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	学校給食費の完全無償化に向けて市独自に取り組むこと及び出産祝い金と入学祝い金に最大80万円分の宮クーポン券発行の提案			<p>(1) 学校給食費の完全無償化に向けて、第2子は半額、第3子以降は完全無償化を市独自の財源で実施してはどうか。</p> <p>(2) 第1子に30万円、第2子に40万円及び第3子以降に50万円分の出産祝い宮クーポン券の発行並びに小学校、中学校及び高校等の入学時におけるそれぞれ10万円分の入学祝い宮クーポン券の発行について。</p> <p>① 上記事業に必要な年間経費をどの程度と考えるか。</p> <p>② 子ども1人の出産から小学校入学前までの平均的な育児費用をどの程度と考えるか。</p> <p>③ 子ども1人の小学校、中学校及び高校等の平均的な入学準備金をどの程度と考えるか。</p> <p>④ これらの子育て支援及び少子化対策による人口の自然増加、移住・定住促進による社会的増加及び宮クーポン券発行による地域経済振興の効果についてどう考えるか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	社会福祉協議会のふじのみやフードサポート事業に対する市の連携・協力体制の強化について			<p>(1) ふじのみやフードサポート事業で提供する食料や生活用品の量が足りず、必要な人に継続的な支援が十分に届いていないのではないかと。</p> <p>(2) ふじのみやフードサポート事業に提供しようとする物資を社会福祉協議会に直接届けたり、地区社協や民生委員を経由したりしなくても、地域の公民館、交流センター及び市役所出張所などに届ければ、社会福祉協議会に集まるような仕組みを構築できないか。</p> <p>(3) 必要な物資をもらうために社会福祉協議会まで来ることができない人のために、社会福祉協議会から自宅まで届ける体制を充実できないか。</p> <p>(4) ふじのみやフードサポート事業に必要な物資と人材を確保するために、上記で提案した仕組みをつくり広く市民に周知することが大切だと考えるが、いかがか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
3	(仮称)富士宮市立郷土史博物館基本構想策定後の取組について			<p>(1) 今年度は同事業に関する予算を計上しない中で、基本構想の内容について広く市民の意見を聞く取組や地域説明会で出された市民の意見への対応及び検討はどう進んでいるのか。</p> <p>(2) 基本構想の内容について、市民の理解が広く進んでいると思われない今の状況で、来年度は同事業について何をしようと考えているのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長